学びの基盤となる【読書】

【読書】キャラクター「おっほん」

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

札幌市立西宮の沢小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

○学年ごとにおすすめの本を用意！

各学年のワークスペースには、それぞれの学習内容に合わせたおすすめの本を置いています。手に届きやすく、朝読書にも活用されています。本を定期的に入れ替えて新しい本とも出合えるようにしています。

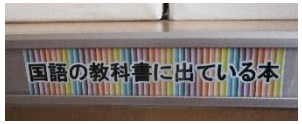
○冊数プレゼント

貸出50冊ごとにしおりをプレゼントしています。種類もたくさんあり、図書館へ向かう意欲につながっています。

学習センターとしての機能

○教科書の本が充実！

国語の教科書に掲載されている本は、1つの本棚にまとめて、探しやすく手に取ってもらいやすいようにしています。



小学校3年生の単元「すがたをかえる大豆」に関連する本もたくさん取り揃え、図書館内にポスターを掲示しています。

また、各教科での学びたい内容に応じて、寄託図書を活用して学習を進めています。開放司書さんもサポートしてくださり、充実した学習ができるよう努めています。

情報センターとしての機能

○図書委員が本を読み聞かせ

図書委員が低学年におすすめしたい本を選び、朝読書の時間に読み聞かせを行いました。

図書委員会では、図書の選書も行っています。図書委員会で選書した本をもっと多くの人に知ってもらいたいとポスターを作り、図書館の近くに掲示しています。

○大阪・関西万博の情報を発信

今年度は大阪・関西万博についてのポスターを図書館の掲示板に掲載しました。その他タイムリーな情報を、掲示板を使って発信しています。